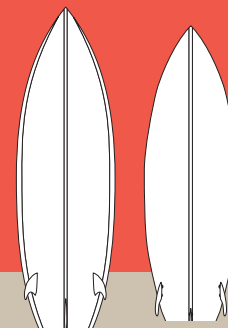
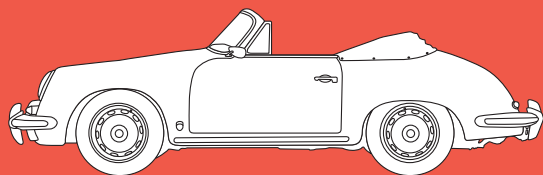


IWAMI

Shimane Pref.

ドライバーズガイドマップ



Iwami Drivers Guide Map

いつもと違う道を通ってみる。
知らないところに寄り道してみる。
その地の人と話してみる。

そんなふうに、いつもの行動を
少しだけ変えてみることで、
その地域や、場所の見え方は、
これまでとは全然違ったものになると思います。

いままで通り過ぎていた場所を、
立ち止まり、立ち寄る場所へ。

この本が、そんな「ちょっとした冒険」を、
手助けするものになれば。と思います。

五十猛海岸

静間から五十猛へ差し掛かる国
道9号線。山間の道が続いた後、
一気に水平線が現れる。「海だー」
と思わず叫びたくなる、地域の
人たちも大好きな景色。(大田市
五十猛町)

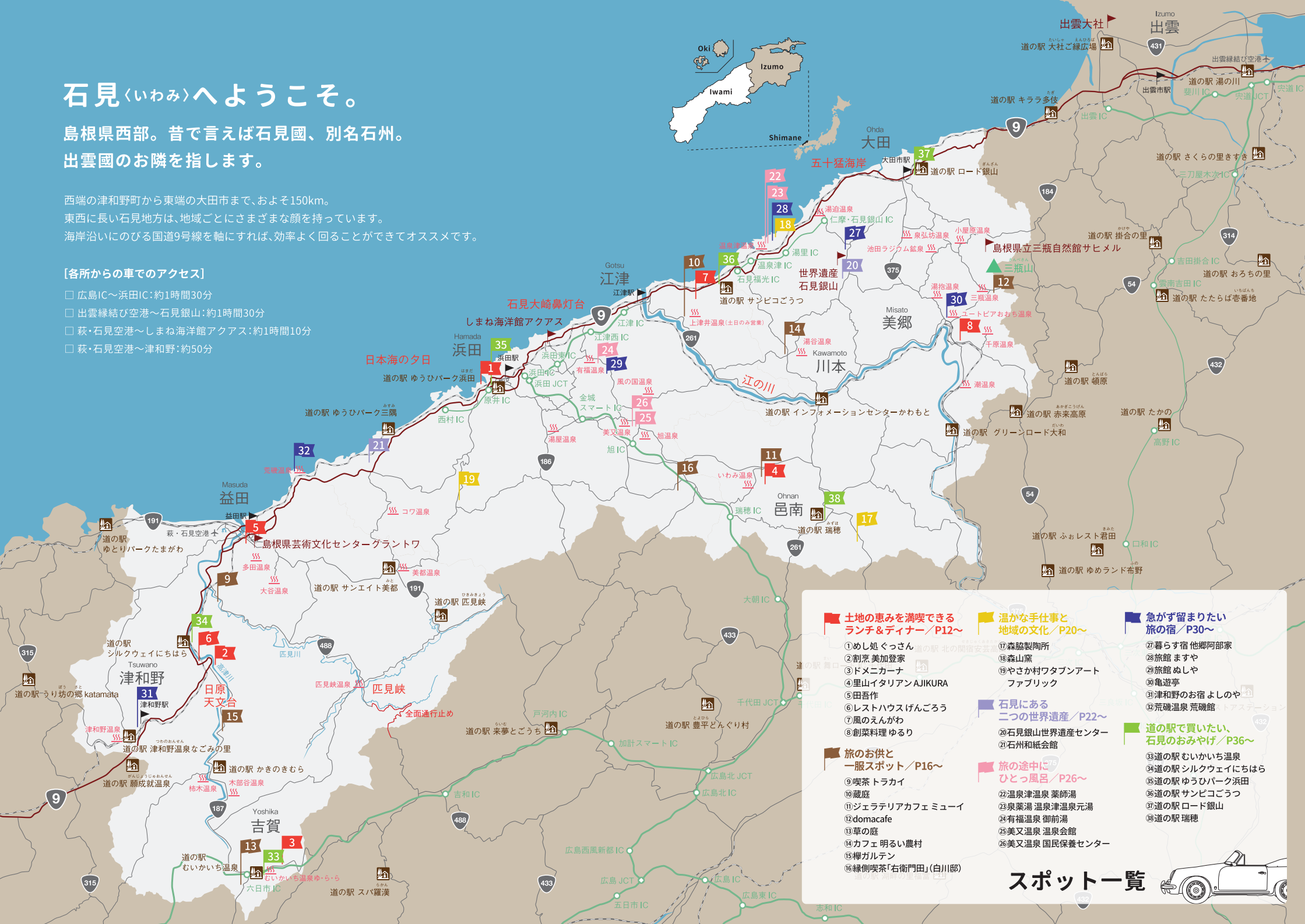
石見〈いわみ〉へようこそ。

島根県西部。昔で言えば石見國、別名石州。
出雲國のお隣を指します。

西端の津和野町から東端の大田市まで、およそ150km。
東西に長い石見地方は、地域ごとにさまざまな顔を持っています。
海岸沿いにのびる国道9号線を軸にすれば、効率よく回ることができてオススメです。

【各所からの車でのアクセス】

- 広島IC～浜田IC:約1時間30分
- 出雲縁結び空港～石見銀山:約1時間30分
- 萩・石見空港～しまね海洋館アクアス:約1時間10分
- 萩・石見空港～津和野:約50分



土地の恵みを満喫できる ランチ&ディナー/P12～

- ①めし処ぐっさん
- ②割烹 美加登家
- ③ドメニカーナ
- ④里山イタリアン AJIKURA
- ⑤田吾作
- ⑥レストラン げんごろう
- ⑦風のえんがわ
- ⑧創業料理 ゆりり

旅のお供と 一服スポット/P16～

- ⑨喫茶トラカイ
- ⑩蔵庭
- ⑪ジェラテリアカフェ ミュウイ
- ⑫domacafe
- ⑬草の庭
- ⑭カフェ 明るい農村
- ⑮樽ガルテン
- ⑯緑側喫茶「右衛門田」(白川邸)

温かな手仕事と 地域の文化/P20～

- ⑰森脇製陶所
- ⑱森山窯
- ⑲やさか村ワタブアート
ファブリック

石見にある 二つの世界遺産/P22～

- ⑳石見銀山世界遺産センター
- ㉑石州和紙会館

旅の途中で ひとつ風呂/P26～

- ㉒温泉津温泉 薬師湯
- ㉓泉薬湯 温泉津温泉元湯
- ㉔有福温泉 御前湯
- ㉕美又温泉 温泉会館
- ㉖美又温泉 国民保養センター

急がず留まりたい 旅の宿/P30～

- ㉗暮らす宿 他郷阿部家
- ㉘旅館 ますや
- ㉙旅館 めしや
- ㉚龜遊亭
- ㉛津和野のお宿 よしのや
- ㉜荒磯温泉 荒磯館 トラスター・ジョン

道の駅で買いたい、 石見のおみやげ/P36～

- ㉝道の駅 むいかいち温泉
- ㉞道の駅 シルクウェイにちはら
- ㉟道の駅 ゆうひパーク浜田
- ㊱道の駅 サンビコごうつ
- ㊲道の駅 ロード銀山
- ㊳道の駅 瑞穂

スポット一覧



Scenic spots

石見大崎鼻灯台

石見海浜公園の一角にある灯台。
ここからの眺めは石見地域でも
屈指。眼前に広がる海岸線と
丘陵は、激しい日本の海のイメー
ジを覆すほど美しい。高台から
ドライブで辿った道を眺めるも
よし。（江津市敬川町）



匹見峡

日本一の清流高津川の支流にあたる匹見川。その浸食によって形成された溪谷が匹見峡だ。表匹見、裏匹見エリアは川に沿って車道が整備されており、圧巻の峡谷美ドライブを満喫できる。
(益田市匹見町)

江の川

中国地方一の大河、江の川。全長は200kmにも及び、山間を堂々と流れる姿は四季それぞれに雰囲気が変わり、目を楽しませてくれる。夏は、カヌーや釣りなど自然体験を楽しむ人で溢れかえる。(邑智郡川本町)

日本海の夕日

浜田港を見下ろす高台に位置する、道の駅ゆひパーク浜田からの景色。真っ赤な光で町と港を包み込む夕日は、海岸から見るものとはまた違った印象を与える。思わずカメラを向けてしまっ絶景。(浜田市原井町)

日原文台

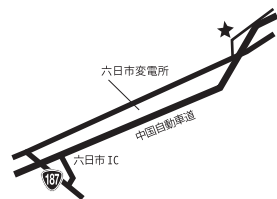
2008年「本州で一番星が見える場所」に選ばれた天文台がここにある。夜空に輝く星々を間近に見る体験は、感動間違いなし。科学館が隣接し、近隣にはキャンプ場やペンションもあり家族で楽しめる。(鹿足郡津和野町)

3 **手作りの石窯で
焼かれる自慢のピザ**

イタリア・ナポリで出会った、真つ赤な炎で焼かれる石窯のピザに感動し、自宅のログハウスで再現。ピザ屋としてオープンした。薄くもなく厚くもない、絶妙の厚さの生地もこだわりの一つ。生地の小麦やソースに使うイタリアントマトなどは自ら無農薬で栽培する。高津川特産の鮎を使ったピザも開発。テラス席はペット同伴でくつろげる。



ドメニカーナ
鹿足郡吉賀町蔵木 1081
0856-77-0568
11:00~14:00 LO
(水・木曜定休、土・日・祝は ~16:00 LO)
ミックスピザ ¥2,000 他
www.iwami.or.jp/domenica/



1 **ツウでにぎわう
市場の穴場食堂**

魚市場の真上にあり、飾り気のない外観と店内。一番人気ののどぐろ炙り丼は、口に広がるのどぐろのうまみと甘みにとろけそうになる。まさに絶品。特製のだし醤油も素材の味を引き立てる。「愛情を込めています」という山口隆さん。この人がつくるとは間違いない、と思えてしまう。魚以外のメニューも豊富で、文句なしにうまい。



めし処 ぐっさん
浜田市原井町 3025
070-5301-3893
6:00~15:00
(土曜 10:00~15:00、金曜定休)
のどぐろ炙り丼 ¥1,500 他



4 **地元素材が主役の
イタリアンレストラン**

酒蔵を移築して改修した、落ち着いた空間。使っているのは、100%地元生産者の野菜。4種類あるランチでは、野菜はもちろん、地元産のキャビアや石見ポークを使った料理も人気。野菜作りから料理までを学び、起業を目指す「耕すシェフ」たちが全国から集まっているのもユニークだ。前日までに予約すればディーナが楽しめる。



里山イタリアン AJIKURA
邑智郡邑南町矢上 3123-4
0855-95-2093
ランチ 11:00~14:00 LO ディナー 18:00~20:00 LO
(水曜定休 *祝日の場合は営業/ディナーは前日までの予約制) パスタランチ ¥1,500 (税別) 他
si-ajikura.com



割烹 美加登家
鹿足郡津和野町日原 221-2
0856-74-0341
11:30~19:00 (月曜定休 *完全予約制)
鮎づくしのコース ¥8,000~¥10,000
(税・サ別)
www.sun-net.jp/~mikadoya/

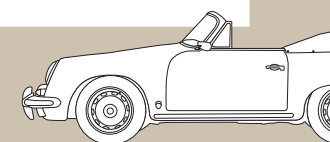


2 **清流の恵みたっぷりの
鮎づくし料理**

滋味あふれる天然鮎を求め、6月~11月のシーズンには、県外や遠く九州からも常連客が訪れる。清流日本で知られる高津川のすぐそばに立つ老舗割烹。釣り人から、色、艶、香りの揃った鮎を直接仕入れ、9~10品の鮎づくしのコースを提供する。頭からまるごと味わえるメインの塩焼きには、長年の勘を頼りに火加減をみる職人技が宿る。

Lunch & Dinner

土地の恵みを満喫できるランチ&ディナー



7 体と心にやさしい 古民家カフェ

風格ある赤瓦の古民家の中は、畳敷きで広々とした空間。テーブルと椅子、ちゃぶ台など好きな席を選ぶことができる。地元の有機野菜を使った手作りランチやデザート、ドリンクも体によさしいものばかり。「長居歓迎です」とオーナーの多田十誠さん。ドリンク2杯目は50円引き。2階は貸しきり可で半日過ぎす人もいるというのも納得。



風のえんがわ

江津市後地町 2398

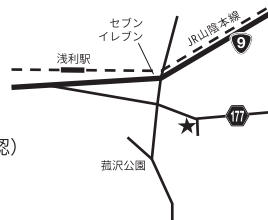
0855-57-0522

10:30~17:00

(月曜定休、日曜は不定期営業 *サイトで確認)

手づくりチャイ ¥550 他

kazenoengawa.jindo.com



5 味と鮮度に こだわり抜く海鮮処

時化などで魚が手に入らない日は、予約客以外は断っている。女将の岩崎治代さんは「美味しいものしか出したくない。日本海のきまぐれが相手だから仕方ないのよ」と笑う。人気は4種類の新鮮な刺身を使った刺身定食や海鮮丼。プリプリで歯ごたえ十分。かみしめると海の恵みが口に広がる。確実に味わえる予約がオススメ。



田吾作

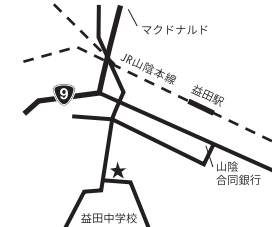
益田市赤城町 10-3

0856-22-3022

12:00~0:00 (不定休)

海鮮丼 ¥1,650 他

tagosaku1966.jp



しまね田舎ツーリズム推進協議会 提供

8 探し求めた理想郷で 開店した農家レストラン

地元の無農薬野菜にこだわり、化学調味料に頼らない「おふくろの味」を追求する農家レストラン。オーナーの前田さん夫婦が、この地にお店を構えて11年。素材の持ち味を活かした料理は、県外からも多くのファンを惹きつけている。予約をすれば宿泊も可能。ここまで来たなら、とここん田舎暮らしを満喫するもよし。ゆったり流れる時間を楽しみたい。



創菜料理 ゆるり

邑智郡美郷町上川戸 314

0855-75-0607

11:30~14:00 17:30~21:00

(不定休 *要予約)

夜の会席料理 ¥3,710~ 他

yururi.eek.jp



6 ベテラン猟師の 絶品ジビエ料理

周辺の山で年間100頭の天然猪を仕留めるといふ、猟師歴45年のベテラン水津昭さん。きちんと処理された猪肉は、驚くほど臭みがなく、ヘルシーだ。調理して振る舞うのは妻の幾枝さん。少しの味噌と野菜の水分で煮込むたん鍋は、猪肉のうまみが存分に味わえ、猪のイメージが覆される。持ち帰り用の猪肉も販売。



レストハウス げんごろう

鹿足郡津和野町河村 543-4

0856-74-0247

11:00~15:00 (木曜定休)

猪鍋(ごはん付) ¥1,250 他



100%自然放牧牛乳を使った無添加ソフトクリームが看板商品。濃厚なのに、後味さっぱり。自然放牧のため、毎日微妙に牛乳の味、色、香りは変わる。そのときしか味わえない旬の味は、やみつきになる。8種類のジェラートのほか、プリンなどのおみやげのスイーツも充実。持ち帰りができるオリジナルの珈琲は、ドライブのお供にぴったり。

11 クセになる濃厚ソフトクリーム



ジェラテリアカフェ ミューイ

邑智郡邑南町矢上 3119-3

0855-95-0118

10:30~18:00 (不定休、夏季延長営業あり)

ソフトクリーム ¥360 (税込み) 他

sixth-produce.co.jp



domacafe

大田市三瓶町志学 349

0854-83-3235

12:00~20:00 (金・土・日曜・不定期月曜)

営業 *12月中旬~4月中旬は冬季休業)

ベーグルサンドプレート ¥950 他

blog.domacafe.com



12 移住夫婦が紡ぐ古くて新しい異空間

東京からリタイアしてきた岩谷俊輔さん、かなえさん夫婦が営むカフェ。築105年の診療所が、5年がかりのリノベーションで、素敵に生まれ変わった。重厚感あるソファや机は、ご近所からのいただき物。グラインドピアノや跳び箱も違和感なくなじんでいる。手作りのベーグルが好評。2階のギャラリーも気軽に使って、とかなえさん。

看板を頼りに土手の道を進むと、田園風景に溶け込んだ一軒家が現れる。石川剛さん、智子さん夫妻が高津川流域材で建てた理想の空間。大きな窓に映る景色は、季節や座る場所によって異なる表情を見せ、カウンスター席でもテーブル席でも、時が経つのを忘れて安らげる。自家製の野菜や果樹を使った月替わりのランチが人気。

9 時を忘れる田園カフェで一休み



喫茶 トラカイ

益田市隅村町 497-1

0856-25-1430

11:30~17:00 (木・金・土曜営業)

コーヒー ¥350 他

maro-v.jp/~trakai/



蔵庭

江津市松川町下河戸 1-1 0855-57-0100

kuraniwa.jp

[kuraniwa]

金曜 11:00~18:00

土・日曜・祝日 8:00~18:00

(月~木曜定休 *冬季休業あり)

玄米プレートランチ ¥1,200 他

[tsumugi]

10:00~18:00

(火・水曜定休)

ベーグルシナモン

ドーナツ ¥180 他

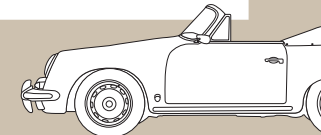
マクロビオティック師範の資格をもつ戸田さんが営むカフェ「kuraniwa」は、三次の人気パン屋「tsumugi」で10年修行した峠土さんによるベーカリー「tsumugi」。江ノ川にほど近く庭園をもつ古邸を蘇らせた美しい空間と、カラダに優しい食事、丹念に焼き上げられたパンを目当てに、ドライブがてら遠くからも客が訪れる。



10 地元野菜と国産小麦にこだわるベジタブルカフェ&ベーカリー

Cafes & Snacks

旅のお供と一服スポット



日本一の清流高津川流域の木と自然素材を使った木の家を提案する、(株)リンケンが運営するカフェ。樺の木々に囲まれたカフェは、国道187号線沿いにある、ワインディングロードを楽しむツーリング客の一時の憩いの場にもなっている。店内の本棚から気になる一冊を選んで、音楽を聞きながらページをめくる。豊かな休日の過ごし方がある。

木の温かみに触れながら ゆったりと過ごす



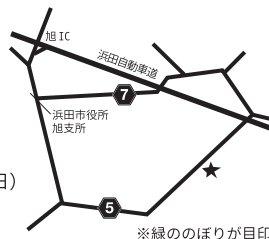
樺ガルテン

鹿足郡吉賀町柿木下須 674-1
0856-79-2600 (平日: 0856-79-2535)
11:00~17:00 (土・日曜営業)
ケーキセット ¥800 他
keyakig.exblog.jp



温かい笑顔で白川さんご夫婦が迎えてくれる。現在、この地域で2軒のお宅が自宅の縁側を開放し、週末に客人を招いている。これが縁側喫茶だ。「この地域の宝は棚田と古民家。子どもたちに残したい。」と英隆さんは大好きな縁側からの風景に目を移す。デザートは則子さんのお手製。自家製米粉のケーキは上品な甘さで、つつい2つ目には手を伸ばしそうになる。

田舎ツーリズムで 石見暮らしを体験する



※緑ののぼりが目印

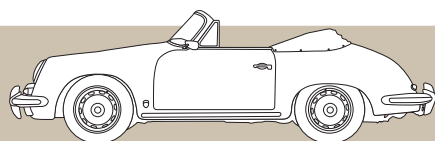
縁側喫茶「右衛門田」(白川邸)

浜田市旭町都川 2159
0855-47-0423
9:00~16:00 (5月~11月 第一・第三日曜開放日)
田舎ツーリズム体験料 ¥500
(※コーヒー、ケーキ付)



田舎ツーリズム: 農山漁村で、地元の人々との交流を通して、農林漁業体験やその地域の自然や文化、暮らしに触れるプログラム。

Cafes & Snacks



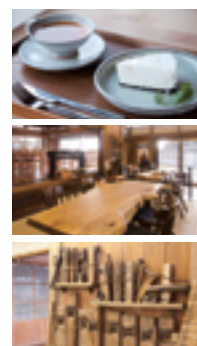
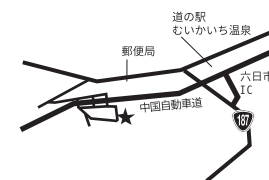
オープンしてから19年。地産地消をテーマに始まったお店。子どもが生まれてから「食」に対しての意識が一層強くなり、有機野菜や無添加にこだわったメニューを提供していると、オーナーの花崎さん。店を運営しながら、食育の推進も地域で行っている。店内の窓からは裏庭が見え、季節の移り変わりが来るのを楽しめる。森の中でゆったりと過ごすことができるような雰囲気か心地よい。

《とにかく自然に近く》が コンセプト



草の庭

鹿足郡吉賀町沢田 20
0856-77-1536
10:00~17:00 (金・土・日曜営業)
クラブハウスサンド (スープ付)
¥1,000 他
kusanoniwa.net



田園風景を眺めながら車を走らせる小さな集落が見えてくる。その真ん中に位置する古民家カフェ。実は昭和時代に建てられた郵便局を、町の人たちが自らが改装した手作りのお店。家具も近隣の木を切り出してつくられていて、温かさが何とも心地よい。スタッフとの会話も楽しみの一つ。情報誌に載らない近隣情報を聞いて、次の行き先を決めてみるのもおもしろい。

まちの人々に愛される 憩いの場



カフェ 明るい農村

邑智郡川本町大字南佐木 177-3
0855-74-0870
11:00~17:00 (月・水・木曜定休)
ホットコーヒー ¥360 他
a-nouson.eek.jp



民芸運動を進めた河井寛次郎の内弟子、森山雅夫さん。器は使われてこそ。この40年、美しさと使いやすさを追いつめる情熱に変わりは無い。地元の土と釉薬で作る独特の瑠璃色と黄緑色。人気はコーヒーカップで、口触りの良さ、持ちやすさは感動モノ。「いつ来てもらってもいいですよ」と微笑む雅夫さん、美代恵さん夫妻に、また会いたくなる。

18 匠の技と情熱が生み出す「日用の美」



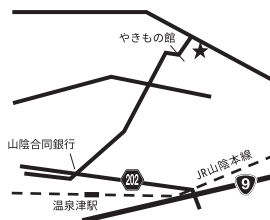
森山窯

大田市温泉津町温泉津イ 3-2

0855-65-2420

9:00~18:00

コーヒーカップ ¥2,500 (税別) 他



そっけない外観から一歩入ると、ずらりと並ぶ機織り機。大人の秘密基地に迷い込んだようでドキドキ、ワクワク。京都の伝統工芸・西陣の技術を生かした天然シルク100%のタオル「キビソ朋友だち」をつくる機織り工場。保湿度たっぷりのタオルは大人気。予約すれば手織り体験ができ、3時間ほどでランチョンマットが完成する。思い出に持ち帰りたい。

19 大人の秘密基地で手織り体験



やさか村ワブンアートファブリック

浜田市弥栄町木都賀イ 514-1

0855-48-2436

9:00~16:00 (土・日・祝定休)

手織り体験 ¥3,500



展示場には、呼吸するように器が自然と並び、それぞれの佇まいがなんとも美しい。土も釉薬も島根のものが使われている。素材と真摯に向き合う森脇さんの誠実さが、柔らかな風合いを生み出す。自然に囲まれた工房で、お話を聞きながら器を手にする、森脇さんの幸せな暮らしの一部をお裾分けしてもらおう気分になれる。時間をとってじっくり訪れたい。

17 日常以上、非日常未満の不思議な空間



森脇製陶所

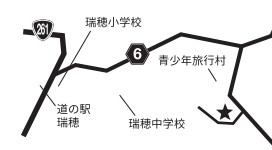
邑智郡邑南町岩屋 1273-4

0855-83-2177

訪問前に電話連絡必要

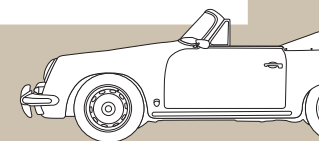
マグ ¥3,000 (税別) 他

morisei.net



Arts and crafts

温かな手仕事と地域の文化





松本賢一著「南蛮紅毛日本地図集成」(鹿島出版会刊) 島根県教育委員会蔵

“石見にある二つの世界遺産”

知るほどに味わい深い、世界遺産のきらめき

—その1—

石見銀山

かつて銀を採掘していた坑道跡「龍源寺間歩」を歩く。暗く、ひんやりとした空気。手掘りというノミの跡が、壁面から生々しく迫ってくる。大小合わせて600を超えと言われる石見銀山の間歩の中には、全長900メートルに及ぶものもあるようだ。確かにすごい。しかし、これだけで、石見銀山の価値が伝えられるわけではない。そう、実は、石見銀山は「地味」「わかりにくい」、一部で言われてきた世界遺産でもあるのだ。

古来から行われてきた精錬技術である灰吹法を取り入れることで、良質な銀を大量に生産することになった石見銀山。16世紀の大航海時代、世界に流通する約3分の1を産出した日本の銀の大部分を担ったとされ、こうした金銀や香辛料を求めてヨーロッパ人が東アジアの貿易に参入、東西の異なる文明の交流が生まれた。さらに、石見銀山と周辺では、森林資源をしっかりと管理しながら製錬に必要な木材燃料を供給したことから、豊かな森林が残されているのも見逃せない。鉱山遺跡と自然環境が一体となって文化的景観を

形成するのは世界的に類を見ないとして、世界遺産にふさわしいとの評価を受けている。

こうした石見銀山の価値や歴史を詳しく知るには、「石見銀山ガイドの会」によるガイドツアーを利用するのがオススメ。また、「石見銀山世界遺産センター」でもわかりやすく解説されている。ただ何気なく見て歩くだけでは伝わりにくい。より深く学ぶことで、かつて世界を駆け巡った銀のきらめきを想像し、遺産の価値を味わいながら、楽しむことができる。

鉱山町として栄えた大森地区、銀の積み出し港だった温泉津も世界遺産の一部。両地区とも、古い建物をリノベーションしたカフェなどが建ち並び、散策にぴったりだ。

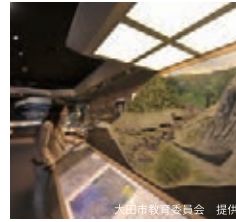
石見銀山ガイドの会の詳細や連絡先は以下で確認できる。予約なしで参加できるワンコインツアーのほか、事前予約も可能。

石見銀山ガイドの会
0854-89-0706
iwamiginzan-guide.jp

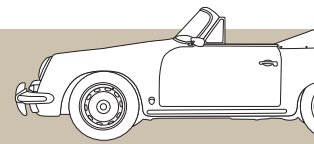
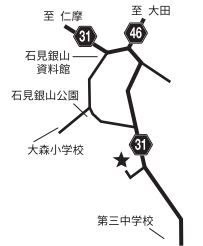


石見銀山世界遺産センター

大田市大森町イ 1597-3
0854-89-0183
8:30~17:30 (展示室は 9:00~17:00 最終受付 16:30、
休館：毎月最終火曜／年末年始)
入館料：一般 ¥300 小中生 ¥150
※20名以上の団体の場合、一般 ¥250 小中生 ¥100
ginzan.city.ohda.lg.jp



大田市教育委員会 提供



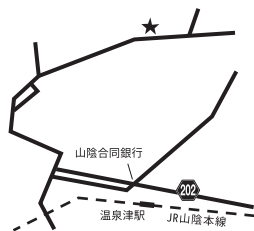
発見されてから1300年の歴史を持つ元湯。古くから知られた湯治場で、今でも多くの人々が疲れを癒やに訪れる。「必要とされるから残る。これからも大切にしたい。」。当主の伊藤昇介さんの言葉には、湯治文化を受け継いできた自負とともに、自然の恵みに対する感謝の思いが表れている。自然湧出する約50℃の源泉は、そのまま、黄金に変色した湯船に注がれる。自分の体の手入れに訪れたい。

23 受け継がれる「命を延ぶる薬」



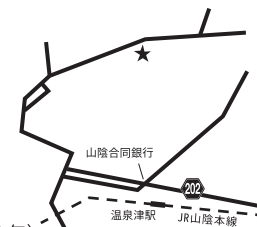
泉薬湯 温泉津温泉元湯

大田市温泉津町温泉津口 208-1
0855-65-2052
8:00~20:00 (臨時休業あり)
入浴料：¥370



22 大正ロマンへタイムスリップ

この温泉街は、国の重要伝統的建造物群(町並み保存)に指定されているが、その中でもひときわ目を引くレトロ調の建物が薬師湯だ。日本温泉協会が認める、最高評価の「オール5」を受けた薬効豊かな天然温泉で、山陰では唯一。2階のラウンジはモダンな雰囲気。屋上から眺める赤瓦が連なる町並みは素晴らしく、湯上がりにのんびりくつろぎたい。木造洋館のカフェも重厚な雰囲気抜群。



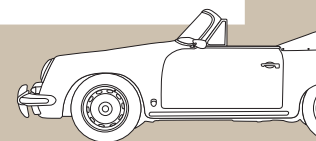
温泉津温泉 薬師湯

大田市温泉津町温泉津 7
0855-65-4894
6:00~21:00 (平日は 8:00~ 無休)
入浴料：大人 ¥350 子ども ¥200 (1歳~小学6年)
*貸切湯 (40分間) は、大人 ¥650、子ども ¥300 (1歳~小学6年)
yunotsu.com



Hot Springs

旅の途中にひとつ風呂





《美又温泉》
ひなびた秘湯の
風情に誘われて

湯上がりのお肌は、つるつる、すべすべ。石鹸が残ってる？と思ってしまうほど、ぬめりのある独特のお湯。川沿いのひなびた温泉街は、秘湯の風情が漂う。地元の人に通うこじんまりとした素朴な温泉会館と、展望風呂からのリバービューが自慢の「国民保養センター」があり、気分によって使い分けたい。



25

温泉会館

浜田市金城町追原 11
0855-42-1686
8:00~21:30 (第二・第四月曜休館、
土・日・祝は 6:00~21:30)
入浴料：¥250



26

国民保養センター

浜田市金城町追原 32-1
0855-42-0353
10:00~19:30 (水曜定休)
入浴料：¥500
mimataonsen.jp



24

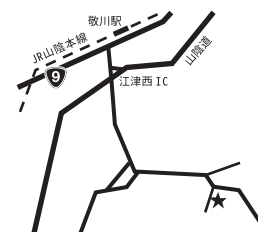
《有福温泉》 レトロが香る 極上の美肌湯

1360年前に開湯し、美肌の湯として伝わる。急な階段を上った先に佇む、昭和初期のレトロな共同湯が「御前湯」。浴室内は天井が高く解放感があり、大きな窓から差し込む光がやわらかく反射する。無色透明のお湯は、贅沢な源泉掛け流し。地元の人に「あったまっていきんちゃんね(行きなさい)」と声をかけられ、気分もほっこり。

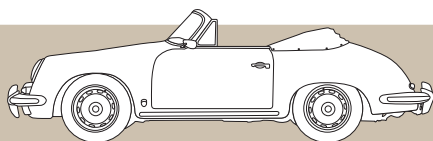


御前湯

江津市有福温泉町 710
0855-56-3353
7:00~21:30 (不定休)
入浴料：¥400
arifuku.net



Hot Springs



会席料理が一品ずつ、温かいうちに部屋に運ばれてくるのは、女将の益田三代子さんのこだわり。地物の魚や野菜を活かした繊細な味、創意工夫に満ちた盛りつけは、料理旅館の名に恥じない。創業100年。明治、大正、昭和の各時代の部屋が残る木造3階建て。毎週土曜夜に近くの神社である石見神楽を観るのも、温泉津ならではの楽しみ。

28 「料理旅館」のプライドが 伝わる美食の宿



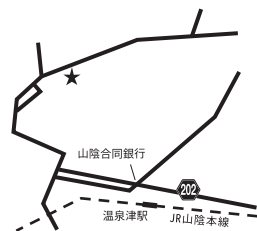
旅館 ますや

大田市温泉津町温泉津口 32

0855-65-2515

宿泊料：¥10,950～(一泊二食付)

ryokan-masuya.com



27 旅先で家族のように 迎えられる宿

オーナーの松場登美さんは、ここで暮らしながら、ひとときを共に暮らすようなおもてなしで客人を迎えている。掃除の行き届いた館内の空気は、実に清々しい。家具は、ほとんどが譲り受けて修理したもの。命が再び吹き込まれた道具たちは、胸をはって「使ってください」と言わんばかりの存在感だ。多くのリピーターが通う、まさに「ここにしかない」場所。



暮らす宿 他郷阿部家

大田市大森町ハ 159-1

0854-89-0022

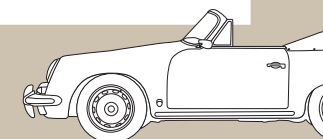
宿泊料：¥25,920 (一泊二食付)

takyo-abeke.jp



Accommodations

急がず留まりたい旅の宿



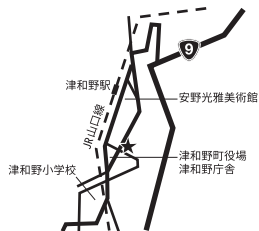
酒蔵が並ぶ本町通りに立つ老舗旅館。地元食材を使った料理の中でも人気は「酒蔵鍋」。だしと味噌をベースに津和野の酒粕の風味を生かしたやさしい味。地酒も豊富にそろえる。「津和野の良さは歩いてもらわないとわからない」と、宿泊客には津和野でオススメのスポットや人、食事処を積極的に紹介している。全館畳敷きで、ほっとくつるげる。

31 津和野のまち、人、食を伝える宿



津和野のお宿 よしのや

津和野町後田口 185-3
0856-72-4039
宿泊料：¥9,900～(一泊二食付)
tsuwano-yoshinoya.jp



露天風呂の湯船に入ると、波しぶきがかかりそうなほど、海に近い。水平線に沈む夕日、朝日に照らされた空、闇に浮かぶ漁り火。そのときしか出会えない風景があり、何度でも入りたくなる。全室オーシャンビューで、露天風呂付き客室は4室。アウビの躍り焼き、冬の松葉ガニなど迫力ある海の幸も楽しみみの一つ。夜は波音をBGMに眠ろう。

32 日本海を独り占めする絶景宿



荒磯温泉 荒磯館

益田市西平原町 1019-1
0856-27-0811
宿泊料：¥14,190～(一泊二食付)
araisokan.com



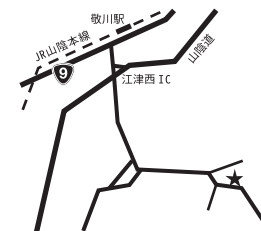
ロビーや4棟の離れに、移築した石見地方の酒蔵、古民家が使われる。赤い屋根は地場産業の石州瓦。時代を超え、石見の職人の心と技が息づく。自慢の「瓦宝楽焼」では、石州瓦を象った火鉢と炭火で、石見の魚介類や松永牛を豪快に。火鉢は、女将の松垣裕子さんが10年がかりで編み出した特注品。全館バリアフリーの心遣いも嬉しい。

29 石見の心と技が息づく贅沢な宿



旅館 むしや

江津市有福温泉町 955
0855-56-2121
宿泊料：¥20,000～(一泊二食付)
www.nushiya.jp



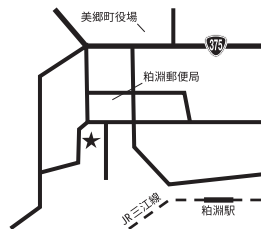
川と山の幸を堪能できる老舗旅館。門をくぐると、手入の行き届いた庭が続く。敷地面積は1600坪にも及び、江戸時代の庄屋敷の佇まいは今も健在だ。世界遺産石見銀山に程近く、当時、赴任する代官が宿泊もしたという由緒ある場所。自然に囲まれた地域の食材がふんだんに使われた会席も絶品。全客室から大内江の川を望むことができ、川の流れる聞きながら静かな時間を過ごしたい。

30 川と山の幸を堪能できる老舗旅館

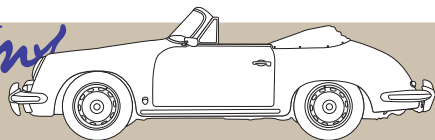


亀遊亭

邑智郡美郷町粕洲 340
0855-75-1245
宿泊料：¥12,960～
(一泊二食付、食事のみも可 ¥4,320～ *要予約)



Accommodations





神事であり娯楽であり

石見神楽

お囃子が聞こえると自然と人が集まってくる。石見に暮らす人達にとって、神楽は日常にとっても近い存在だ。

謡曲を神能化した出雲地域の佐陀神能（ユネスコの無形文化遺産に指定）が石見地方にも伝わったことが、石見神楽のはじまりとされている。「神楽」かつては神職による神事だったが、民衆の娯楽として演劇化され、土地の人々の手で今に受け継がれてきた。

中でも石見地方の海辺の地域で舞われるものは、他にないテンポよいリズムとダイナミックな所作が特徴的。舞手が身に付ける衣裳は豪華絢爛。鬼や大蛇は火だつて吹く。子どもたちにとっては鬼を退治する神方よりも、退治される鬼のほうがむしろ人気のようだ。いずれにせよ、目の前にいる舞手は何にも勝るヒーローで、神楽を続けるために地元に働いているという舞手も少なくない。とにかく見ていて「楽しい」と思う神楽は全国的にも珍しい。

各地で豊作・豊漁を感謝する
秋祭りでは、神楽のお囃子ごと

この地域でも夜通し町に響き渡る。それを目当てに、地元の人たちが毛布持参で神社へ向かう姿はこの土地の風物詩。子どもたちの口癖は「どんちゅっ」。お囃子がそんなふうに聞こえるのだと、皆口にしながら舞ぶりを真似することに得意げだ。石見の人たちのソウルミュージックは、まさにこのお囃子なのだと確信するほど、石見の人の暮らしに「神楽」は染みこんでいる。

県外からも多くの神楽ファンが訪れるようになり、今では、様々な催し物や祝い事など、いたるところで観られるようになった。しかし、醍醐味を味わうなら、間違いない前述した秋の奉納神楽がおすすめ。神社の境内に赴いて、地域の人に混ざりながら見る神楽はなんともロカール感満載。これ以上の石見の夜はないだろう。

上演情報は以下で確認することができます。また、演出解説や楽にまつわる伝統技術の紹介など、石見神楽を一層楽しむためのヒントも満載。

島根県西部

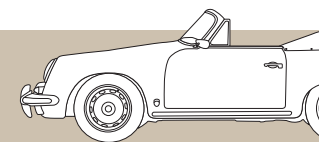


なつかしの国 石見の

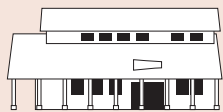
all-iwami.com/contents/kagura/yotei/

Iwami Kagura

アイ企画 提供



36

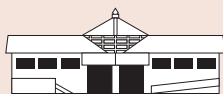


石見地域に多く見られる赤瓦が特徴的な道の駅。産直コーナーの三彦市は、海・山・川とバラエティに富んだ自然の恵みが盛りだくさん。レストラン、ガソリンスタンド、コンビニエンスストアも隣接。ドライバーのオアシスとなっている。

道の駅 サンピコごうつ

江津市後地町 995-1
0855-55-3151
9:00～18:30（定休日：木曜、年始）

37



お腹をすかせて寄りたい道の駅。食事処では、郷土料理の箱寿司や手打ちそばがオススメ。併設のぎんざん市場には新鮮な地元の野菜が並ぶ。世界遺産石見銀山を散策した後は、ここで面白い物を楽しみたい。

道の駅 ロード銀山

大田市久手町刺鹿 1945-1
0854-82-1991
9:00～19:00
＊レストラン 11:00～17:00（定休日：水曜）

38



広島方面からの玄関口に位置する道の駅。産直市は品揃え豊富で、地元でとれる新鮮な農作物や特産品が 400 点以上並ぶ。年間 200 頭しか育てられていない石見和牛を贅沢に使ったお弁当も人気商品（要予約）。館内に流れる方言アナウンスが、買い物を楽しませてくれる。

道の駅 瑞穂

邑智郡邑南町下田所 260-3
0855-83-1112
7:00～18:00
＊産直市みずほ 9:00～18:00 レストラン 11:00～18:00（定休日：道の駅は 1/1、産直市は 1/1～2、レストランは火曜）



桑の実ジャム／桜江町桑茶生産組合
かつて養蚕業が盛んだったことから、今でも桑畑が広がる桜江町。貴重な自然栽培の桑の実が使われている、すっきりした甘さの手作りジャム。
¥734（税込み）³⁵



岩のり／黒松自治区

白浜が美しい黒松海岸。付近の岩場はミネラルの塊で、海藻もよく育つ。冬の時期しか出回らない超レア物。
¥1,400（税込み）³⁵



サバーニャ／岡富商店

郷土食である鯖の塩蔵をバーニャカウダ風にアレンジ。野菜やパンにつけてよし、調味料としてパスタなど様々な料理にも使える。¥540（税込み）³⁷



箱寿司／ロード銀山

祝い事には欠かせない箱寿司。と言いつつ、地元の人はしょっちゅう食べている。彩り豊かで目も楽しませてくれる。¥450（税込み）³⁷

はちみつ／宇津田養蜂場

周囲を囲む山林から運ばれる花蜜。加熱処理されていないのは純粋な蜂蜜の証拠。栄養分も香りも失われていない、正に本物。¥1,543（税込み）³⁵



もろみそ／垣崎醤油

島根は発酵食品のメッカ。まる二日かけて作る麹に加える濃口生醤油は、1年半ねかせたもの。三温糖を加えた、やさしい味が特徴的。
¥360（税込み）³⁵

休憩だけじゃもったいない。

野菜、魚、お菓子の民芸品。その土地のものにたくさん出会える道の駅。まるで凝縮された町のよう。ここが旅の目的地になってしまふくらい。楽しみが待ち受けている。

紅そば／サジキアグリサービス
全国でも珍しい紅そば。開花シーズンは畑一面がピンク色に染まる。コシは強いが、のどごし抜群。少量生産の希少品。¥564（税込み）³⁵



ベビィしいたけ／柿の里
小さいうちに手摘み収穫された椎茸のピクルス。肉厚で風味も豊かな上に、甘酸っぱいたれが食欲をそそる。ビールのお供に。¥510（税込み）³⁵



粟羊羹／城下町の小さな農家レストラン ちしゃの木

粟あんにきざみ栗を散りばめた贅沢な純栗ようかん。栗の香りがなんとも香ばしく、甘さも控えめ。津和野は栗の産地として有名。
¥864（税込み）³⁴



鰯のか／佐伯商店

鰯の内臓を使いたいわゆる塩辛。鰯独特の香りが残る。内臓だけで作る苦うるか、白子で作る白うるか、卵で作る子うりかなど種類も豊富。
¥1,728（税込み）～³⁴



ぶくの味餅干し／米原商店

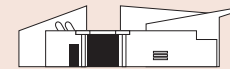
新鮮な魚の旨味と長年変わらぬ伝統の味がやみつきになる。酒の肴にはもちろんのこと、炊き込みご飯の具材としても良し。
¥760（税込み）³⁵



赤てん／江木蒲鉾

スケトウダラが原料で、唐辛子を練り込んださつま揚げのような赤い天ぷら。浜田人にとってはソウルフードとも言える馴染みの深い一品。
¥550（税込み）³⁵

33

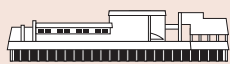


温泉や宿泊施設もあるゴージャスな道の駅。開放的な露天風呂は一浴の価値あり。併設の産直物産館やくろには、有機農業が盛んな周辺地域の新鮮野菜や加工品がずらりと並ぶ。

道の駅 むいかい温泉

鹿足郡吉賀町有飯 238-2
0856-77-3001
温泉 6:30～8:30 10:00～22:00
＊産直物産館やくろ 8:30～17:30
レストラン 11:00～14:00 LO / 17:30～20:00 LO
（定休日：第二水曜 ＊2月と9月に特別休館あり）

34



水質日本一の清流、高津川沿いにある道の駅。隣接する産直市場は、100軒を超える地元農家さんが、年中無休で地元野菜を販売。駅の裏は公園になっていて、夏には川遊びやカヌー、鮎釣り、キャンプも楽しめる。

道の駅 シルクウェイにちはら

鹿足郡津和野町池村 1997-4
0856-74-2045
8:00～19:00（年中無休）

35

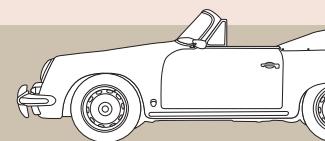


浜田の町並みを一望できる高台にある道の駅。ここから見る夕日はまさに絶景。さすが、石見神楽のお膝元。第二日曜には「石見神楽」の公演が開催されていて、インフォメーションセンターでは、周辺の石見神楽公演情報もわかる。

道の駅 ゆうひパーク浜田

浜田市原井町 1203-1
0855-23-8000
9:00～19:00（年中無休）

道の駅で買いたい、石見のおみやげ

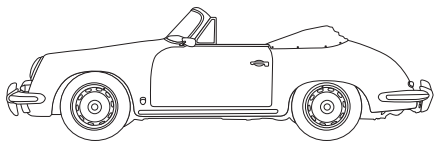




食、工芸、伝統、町並み：
それらが織りなす「景色」は、
まさにその土地や人がつくり出す美しさ。
どんな歴史が、どんな風土が、どんな人が、
この「景色」をつくり上げているのか。
本誌の制作は、石見の土地にある
「景色」を紐解く作業でした。

《百聞は一見に如かず》
《百見は一体験に如かず》

この土地を実際に訪れた時には、
冊子では伝えきれない魅力を存分に
感じていただけるものと確信しています。



IWAMI ドライバーズ
Shimane Pref. ガイドマップ

企画	三浦大紀 [SHIMANE PROMOTION Inc.]
文	田中輝美
アートディレクション	洪 昌督 [MASUDA KOHBOH Inc.]
デザイン	桑原宏幸 [MASUDA KOHBOH Inc.]
	森畑慶子 [MASUDA KOHBOH Inc.]
	八谷嘉之 [MASUDA KOHBOH Inc.]
写真	伊東昌信 [伊東写真事務所]
発行元	石見観光振興協議会

本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、禁じられています。